

展示室1d 春の名品展 日本画と工芸を中心に

2020年5月19日(火)– 7月5日(日)

春になると梅、桜、藤など花々が次々と咲きます。春は色にあふれ、生にあふれる季節です。
本展では、出品作の荒川豊藏《志野茶碗 銘早春》や《志野筍香合》から早春を、稗田一穂《春野》や川合玉堂《藤》から春の盛りを感じとることができます。穏やかな春を過ぎれば、季節は緑鮮やかな夏へと移ります。夏の風物詩、鶺鴒の絵を数多く残した川合玉堂の作品から選んだのは20歳の時に描いた《藍川漁火図》。また中津川市出身の前田青邨の水墨による《鶺鴒》や、抽象画家である村井正誠が手がけた水墨画には、涼やかなクリスタルガラスを用いた各務鑛三《瓢型花器》などを取り合わせます。作家たちが見つめ表現した春から夏の風物詩を、岐阜県美術館の名品からご紹介します。

【日本画】 ●印は6月7日まで、○印は6月9日から展示／＊印は寄託作品

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法、素材
たけうち せいほう 竹内 栖鳳	1864-1942	●＊	さんそんのはな 山村乃花	不祥	絹本着色
かわい ぎょくどう 川合 玉堂	1873-1957	○	あいかわいさりびず 藍川漁火図	1893	絹本着色
		●	ばんき 晩帰	1899頃	絹本着色
		●	ようろうず 養老図	1902	絹本着色
		○	うかいず 鶺鴒図	1902	絹本着色
		●	ふじ 藤	1929	紙本着色
		○	なつふじ 夏富士	1955頃	紙本着色
まえだ せいそん 前田 青邨	1885-1977	●	えんうんこう 烟雲古塔	1924	絹本墨画
		●	ひこほほでみのみこと 日子穂々手見命	昭和初期	紙本墨画淡彩
			で ま 出を待つ	1955	紙本着色
		○	うかい 鶺鴒	1956	紙本水墨淡彩
		●	なす 茄子	不詳	紙本墨画淡彩
かわさき しょうこ 川崎 小虎	1886-1977	○	ぬまさんだい 沼三題 かいつむり	1940	紙本着色
			ぬま あそ 沼に遊ぶ	1974	紙本着色
むらかみ かかく 村上 華岳	1888-1939	●＊	ぼさつ 菩薩	1921	紙本墨画淡彩
なかがわ 中川 とも	1890-1982		はなしょうぶ 花菖蒲	1972	紙、ポスターカラー
いけだ こうえい 池田 虹影	1892-1956	●＊	はなさくら 花石榴	1938頃	絹本着色
かとう えいぞう 加藤 栄三	1906-1972		ばら	1961	紙本着色
			えんう なか 烟雨の中	1970	紙本着色
むらい まさなり 村井 正誠	1905-1999	○	いわ なみ 岩と波	1970年代	紙本墨画
		○	まい 舞	1970年代	紙本墨画
		○	むだい 無題	1970年代	紙本墨画
ひえだ かずほ 稗田 一穂	1920-		はるの 春野	1976	紙本着色
つちや れいいち 土屋 禮一	1946-		ふち 淵	2013	紙本着色
はせがわ よしひさ 長谷川 喜久	1964-		み き い 視ル・聞ク・言ウ	2015	紙本着色

展示室1d 春の名品展 日本画と工芸を中心に

2020年5月19日(火) - 7月5日(日)

【工芸】 ●印は6月7日まで、○印は6月9日から展示 / *印は寄託作品

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法、素材
こだい かとう こうべえ 五代 加藤 幸兵衛	1893-1982		きんらんて ご す そう か え みずさし 金欄手呉須草花絵水指	1975	金欄出手呉須、陶器
あらかわ とよぞう 荒川 豊蔵	1894-1985	●	しのたけのこうごう 志野荀香合	1973	志野、陶器
		●	しのぼたんこうごう 志野牡丹香合	1954頃	志野、陶器
		●	しのきくこうごう 志野菊香合	1954	志野、陶器
		●	しのちやわん めいそうしゅん 志野茶碗 銘早春	1978-79	志野、陶器
			きせとほないれ めいへきれき 黄瀬戸花入 銘霹靂	1976	黄瀬戸、陶器
		●	しのちやわん めいぼうよう 志野茶碗 銘望洋	1977	志野、陶器
いわた とうしち 岩田 藤七	1893-1980	○	水指	1973	宙吹き、色ガラス
		○	貝	1976	宙吹き、色ガラス
かがみ こうぞう 各務 鑑三	1896-1985		かざりざら めい 飾皿 銘祈り	1929	宙吹き、クリスタルガラス、グラヴェール
		○	なつめ 棗	1971	宙吹き、クリスタルガラス、カット
		●	か き めいしゅんよう 花器 銘春陽	1972	宙吹き、クリスタルガラス、グラヴェール
		○	ささもんか き 笹文花器	1972	宙吹き、クリスタルガラス、グラヴェール
		○	水指	1976	宙吹き、クリスタルガラス、気泡封入
		○	ひさごがたかき 瓢型花器	1983	宙吹き、クリスタルガラス、カット
やまだ てつ 山田 詰	1898-1971	○	たいひ さん ゆう 玳皮蓋釉飾皿「花」	1963-65頃	玳皮蓋釉、陶器
			しるけ しょうし もんつぼ 白化粧詩文壺	1961頃	白化粧、陶器
こやま ふ じ お 小山 富士夫	1900-1975		まだらからつみずさし 斑唐津水指	1964頃	斑唐津、陶器
つかもと かいじ 塚本 快示	1912-1990	*	はくじちようこくもんおおざら 白瓷鳥刻文大皿	1978	白磁、磁器
むねひろ りきぞう 宗廣 力三	1914-1989	○	しよきぐじようつむぎきれじ 初期郡上紬裂地	1955-70頃	紬、絣、絹
かとう たくお 加藤 卓夫	1917-2005		さんさいか き めいそうよう 三彩花器 銘爽容	1990	三彩、陶器
すずき おさむ 鈴木 藏	1934-		しのちやわん 志野茶碗	2017	志野、陶器
かとう こうぞう 加藤 孝造	1935-		せ とぐるちやわん 瀬戸黒茶碗	2017	瀬戸、陶器
			き せ とちやわん 黄瀬戸茶碗	2018	黄瀬戸、陶器
とよば せいや 豊場 悋也	1942-		せ とぐるちやわん 瀬戸黒茶碗	2003	瀬戸黒、陶器